

クルーズサマリー

1. 航海情報

- 航海番号 : YK25-17
- 船舶名 : よこすか
- 航海名 : うらしま 8000 の性能確認試験 (2/2)
- 首席研究者 : 中谷 武志[海洋研究開発機構]
- 課題代表研究者 : 志村 拓也[海洋研究開発機構]
- 航海期間 : 2025 年 11 月 6 日～11 月 26 日
- 出港地～帰港地 : 横須賀新港 ～ 仙台新港(仙台塩釜港) ～ 横須賀(機構棧橋)
- 調査海域名 : 相模湾、拓洋第 3 海山、日本海溝

2. 実施内容

● 調査概要

海洋研究開発機構では、日本海溝を含む大深度における科学調査を行うプラットフォームとして、AUV「うらしま」を 3,500m 級から 8,000m 級に改造しました。

YK25-17 では、YK24-18(2024 年 11～12 月)・YK25-02(2025 年 3 月)・YK25-12(2025 年 7 月)に引き続き、R/V「よこすか」を用いて「うらしま 8000」の海域試験を実施しました。本航海では、2 回の越夜潜航を含む 7 回の潜航(#320～#326, 計 79 時間 25 分)を実施し、最大潜航深度は 7,482m(#326)でした。#324 潜航では、日本海溝において速力 3 ノットで 23 時間以上の安定した長時間測線航行を行いました。これらの潜航により、大深度における DVL (ドップラー速度計) の対地速度計測の安定化や、高速音響通信による高精細な SSS (サイドスキャンソナー) 画像のリアルタイムアップリンクを確認し、超深海における広域かつ高精細な調査を可能とする実用的な性能を確認しました。